

提供日 2019/12/3(火)

タイトル 寺尾知可史免疫研究部長が、日本医師会医学研究  
奨励賞を受賞しました。

担当 県立総合病院 総務課

連絡先 県立総合病院 総務課

TEL 054-247-6111(代)



～ともにつくる 信頼と安心の医療～

## 寺尾知可史免疫研究部長が、 日本医師会医学研究奨励賞を受賞しました。

### 1 要旨

静岡県立総合病院 寺尾免疫研究部長（理化学研究所生命医科学研究センター ゲノム解析応用研究チーム チームリーダー）が、日本医師会医学研究奨励賞を受賞しました。令和元年11月1日、日本医師会館（東京）で行われる日本医師会設立72周年記念式典並びに医学大会の席上にて授賞式が行われました。

おって、当院でも以下のとおり表彰式を行います。

日時 令和元年12月17日（火）8:30からの医局会内で（目安 8:50頃）

場所 静岡県立総合病院 6階 つつじホール

寺尾免疫研究部長は、これまで遺伝統計学・遺伝疫学的アプローチで自己免疫性疾患の病態を明らかにしてきました。遺伝統計学というのは、生命の設計図であるゲノム情報の個人差と、病気などの形質<sup>\*1</sup>情報の個人差の関わりを調べる学問になります。

今回、自己免疫性疾患<sup>\*2</sup>の発症に、後天的な遺伝子変化が蓄積し血液細胞を増殖させる現象（クローナルヘマトポイエーシスと呼ばれる）が関係する可能性を提唱し受賞にいたりしました。

### 2 日本医師会医学研究奨励賞について

日本医師会医学研究奨励賞（Medical Research Encouragement Prize of The Japan Medical Association）は、日本医師会会員で、医学上将来性に富む研究を行っているものに授与されます。本賞は、毎年1回、基礎医学・社会医学・臨床医学を通じ、15名に授与されます。

- \*1 形質：分類・形態学では、分類の基準となる形態的な要素をいう。また遺伝学においては、表現型として現れてくる要素的な遺伝的性質を形質という。
- \*2 自己免疫疾患（autoimmune disease）とは、本来ならば体内に入ってきた異物を認識・排除するための役割を持つ免疫系が、何らかの原因により、自身の細胞やタンパク質を異物と認識して攻撃してしまうことで症状を起こす疾患の総称。バセドウ病、1型糖尿病など

#### (問合せ先)

静岡県立総合病院 経営戦略課 静岡市葵区北安東4-27-1  
電話：054-247-6111（代）